

第３次総合計画基本計画（案）についての最終答申に付す意見案

- 1 総合計画の進行管理に係る指標と目標値の設定については、早期にそれを完成させ、重要課題や施策の優先順位などの検討を行いながら効果的な計画の推進を図る必要がある。
- 2 吹田市は全域にわたって市街化されているが、なお開発が進み住宅建設が見込まれている。まちに愛着と誇りを持ち住み続けたいと思う市民が、「住んでよかった」と思える住環境、まちなみの維持形成に市民とともに更に取り組んでいく必要がある。
- 3 地域別計画を策定したことは、総合計画を市民にとって身近なものにする上で大きな意義がある。しかし、市民の日常生活圏域を考えた場合、市域を６ブロックに分けた地域別計画では圏域が広く、よりきめ細かな地域を対象とした計画が必要である。そしてその計画は、行政が作るというよりも、むしろ地域住民自らが主体的に取り組み作ることが重要である。
今後、地域ごとにまちづくりを担えるような住民組織の形成や住民による日常生活圏域でのまちづくり計画の策定も展望しながら、地域別計画の推進に努めていく必要がある。
- 4 新たな将来像を設定した第３次総合計画について、より広く普及啓発し、市民参画と協働を進め、計画の推進に努める必要がある。